

## 取扱説明書

# Race R PRO GP FIM Racing #1



この度はRace R PRO GP FIM Racing #1 ヘルメットをご購入頂きまして誠にありがとうございます。ご使用になる前に本書を必ずよくお読みいただき、その手順に従ってください。説明書はいつでも参照できるように大切に保管してください。ヘルメットのケアや使用に関して質問がある場合は販売店に相談してください。事故や重大なケガにつながる恐れがあります。

### もくじ

安全にお使いいただくために……………	2	シールド……………	10
特長……………	5	内装のお手入れ……………	14
各部の名称……………	6	ベンチレーション……………	17
サイズの選択……………	7	プレスガード……………	18
使用の為のアドバイス……………	8	チンカバー……………	19
顎ヒモ……………	9	イージーフィット……………	19

# 安全にお使いいただくために

安全かつ効果的な取り扱いが行えるように、次の見出しを使用しています。  
見出しの意味を十分にご理解の上、正しくお使いください。

 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容。
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容。

## ● シンボルマークの意味

 このマークは禁止の行為であることをあらわします。	 このマークは指示を守ることがあらわします。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 警告



舗装された道路でのバイク運転にのみ使用してください。  
オフロードやスノーモービル、自動車等での使用はしないでください。



安全運転をお願いします。  
このヘルメットは、国の定める安全基準に適合していますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全ということではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒のときに、外部からの衝撃を軽減するものです。  
重大なケガから最大限に保護をするために、ヘルメットは頭にしっかり固定し、顎ヒモは説明書に書かれている通りにしっかりと締めてください。



ヘルメットは購入後3年で交換してください。  
ヘルメットは、使用する状況により時間経過と共に劣化していきます。ヘルメットに損傷がなくても購入してから3年後に取り換えることを推奨します。  
ヘルメットを使用するごとにダメージ又は劣化が無いことをチェックしてください。

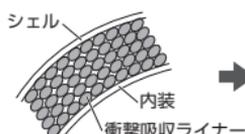


頭のサイズに合ったヘルメットを使用してください。  
大きすぎるヘルメットは、走行中にぐらつくため危険です。  
小さすぎるヘルメットは、頭を締め付けるため痛くなることがあります。

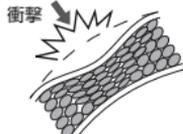


大きな衝撃を受けたヘルメットは使用しないでください。  
ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けたあとは、外観上損傷がなくてもライナーが変形している場合があります。変形した場合、再度衝撃を受けたときにエネルギーを吸収できず、重大なケガにつながる恐れがあります。

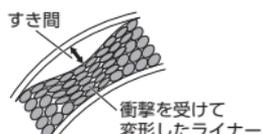
■ 衝撃吸収前



■ 衝撃吸収時



■ 衝撃吸収後



## ⚠ 警告



### トンネル及び夜間走行の注意

夜間、トンネル走行時、雨天時は着色またはミラー加工されているシールドを使用しないでください。

視認力の低下及び視界不良により思わぬ事故につながる恐れがあります。

**本製品を分解・改造しないでください。**

絶対にドリルで穴をあけたり、切ったり、塗装をしないでください。

改造はヘルメットの強度を著しく弱めます。

## ⚠ 注意



**ヘルメットは、注意して扱ってください。**

- ・ヘルメットの上に座ったり、地面等に落下させたりしないでください。
- ・使用前点検を必ず実施してください。内装等の構成部品が正しく取り付けられていないと、走行中に外れるなど運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。ベンチレーション・内装等が確実に固定されているか確認してから使用してください。
- ・顎ヒモは緩みがないように長さを調節し、正しく留めてください。顎ヒモの長さが調節されていない、または正しく留められていないと、走行中にヘルメットがずれたり、万一転倒したときにヘルメットが脱げて、頭が保護されず、重大なケガにつながる恐れがあります。
- ・ヘルメットを車両のホルダーに付けたまま走行しないでください。運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。また、ヘルメットに傷が付く恐れがあります。
- ・リアスポイラーを持って持ち運びをしないでください。破損の原因となります。



**常に環境の変化に気を配って運転してください。**

ヘルメットをかぶっている間は、周囲の音が聞こえ辛くなる、視野が狭くなる、頭部を動かすことが制限される場合があります。

これらの状況の変化に応じてバイクを運転してください。



**本製品を廃棄する場合は、各自治体の条例に従ってください。**

内容については各自治体にお問い合わせください。



**ヘルメットお手入れ時は絶対に石油、石油製品、化学薬品、溶剤を使用しないでください。**

絶対に上記の溶剤等のガスにさらさないでください(例えば、バイクの燃料タンクのキャップをヘルメットの上に置くことなど)。ヘルメットに外傷が見られなくても、これらの薬品によってライナーに深刻なダメージを受ける可能性があります。ヘルメットのお手入れ時には、中性洗剤やぬるま湯をつけた柔らかい布を使用してください。



**高温になる場所に長時間放置しないでください。**

直射日光の当たる場所、夏場の車内や暖房器具の近くなど高温になる場所では保管しないでください。



SGマークはSafe Goods(安全な製品)の略号で、一般財団法人製品安全協会が定めたものです。構造・材質・使いみちなどから見て、生命又は身体に対して危害を与える恐れのある製品について安全性品質に関するSG基準を定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。



国は消費生活用製品のうち、構造・材質・使用状況から見て、一般消費者の生命又は身体に対して、特に危害を及ぼす恐れが多いと認められる製品を「特定製品」として指定しております。「特定製品」の製造を行う事業者は国に届け出を行うとともに、国の定める安全水準に適合しているかどうかチェックします。合格した製品には「PSC」マーク(Product Safety = 製品安全の略号)を表示し、「PSC」マークの表示がされていない「特定製品」の販売を禁じる事としています。

## ■乗車用ヘルメットの有効期限は「購入後3年です」

ヘルメットは使用に伴い老朽化・劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できない事もあります。このためSGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して「購入後3年」との有効期間を定めております。有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れもありますので、充分ご注意ください。又3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損・改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので十分ご注意ください。

一般財団法人製品安全協会/日本ヘルメット工業会

## ■SGマークの被害者救済制度について

ヘルメットについているSGマークは、万ヘルメット(シールド等の付属品は含まない)に欠陥があり、一般財団法人製品安全協会の定めるSG基準に適合していないため着用者がケガをした場合など身体的損害について賠償するものです。但しオートバイを特殊な用途(レース・サーカス等)に用いている際の負傷や、SG基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象になりません。

## ■製品の欠陥による事故がおきた場合は

1. 製品の欠陥による事故がおきたら、すぐに一般財団法人製品安全協会へ連絡してください。TEL(03)-5808-3303
2. 「事故発生届」又は「賠償措置実施請求書」を提出してください。(原則として事故発生より60日以内)
3. 事故の状況を伺うとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
4. 以上の調査結果を検討して、賠償するかどうか決定します。

## SGマークについてのお問い合わせ先

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2階  
一般財団法人製品安全協会 TEL(03)-5808-3303

# 特長



## Race R PRO GP FIM Racing #1



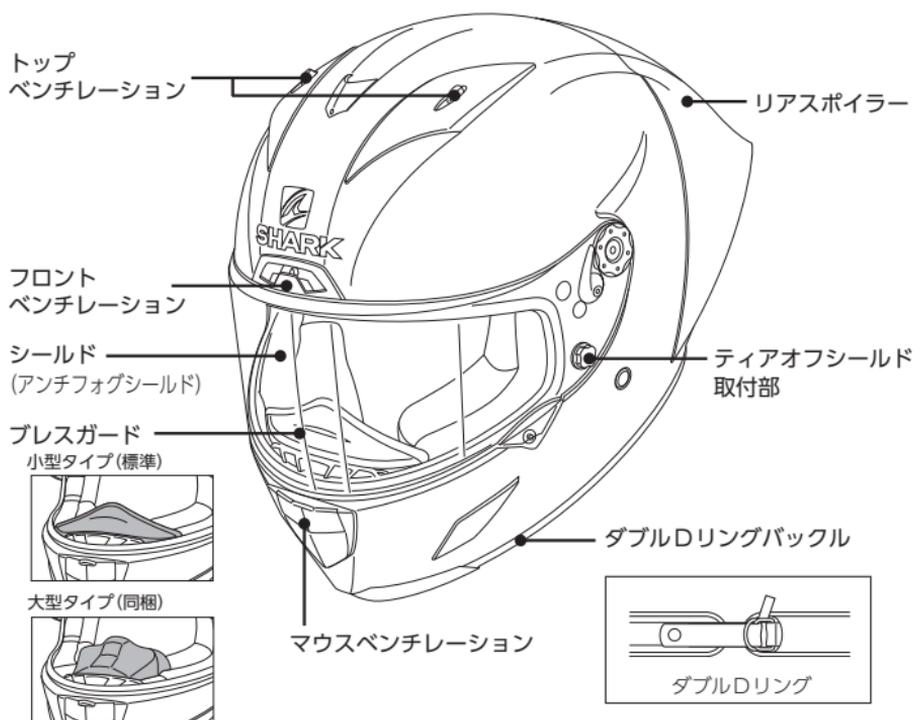
SHARKがMotoGP レース用に開発したこのモデルは、数あるヘルメットメーカーの中で、世界で初めてFRHPhe-01 の認可を全サイズで取得しました。

ヘルメットシェルは、軽量かつ、強靱なカーボン外装とレーシング用アラミド繊維で構成され、新しいFIMの規格に準拠するように開発されました。100%カーボンアラミド繊維にて新規開発されたシェル構造が衝撃や摩擦から頭部を守ります。

また、レース用に開発されたリアスポイラーは、空力特性に優れ、ライダーを取り巻く空気の流れをスムーズに行います。乱気流の発生を低減させて、高速走行での安全・安定した走りに貢献いたします。

FIM 認可の称号であります認可証とQRコードが、ヘルメットの顎ひもに表記されており、QRコードは、レーストラックに入る際にレースマーシャルによりスキャンされ、管理・追跡が可能となります。

# 各部の名称



## ■サイズ

(cm)

ヘルメットサイズ	頭の外周
M	57～58
L	59～60
XL	61～62

## ⚠ 注意

- ベンチレーションやシールド、可動部は運転中動かさないでください。バイクのコントロールを失い、重大な事故につながる恐れがあります。

# サイズの選択

## ⚠ 警告

- ヘルメットの保護能力には限度があります。このヘルメットは、国の定める安全基準に適合していますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全ということではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒のときに、外部からの衝撃を軽減するものです。
- 保護能力を最大限に発揮するため、ヘルメットは頭にしっかり固定し、顎ヒモは説明書に書かれている通りにしっかりと締めてください。ヘルメットが適切に装着されない場合は、ヘルメットが脱げ、重大な事故につながる恐れがあります。

## ヘルメットサイズの選択

ヘルメットは頭部のサイズに一致するように設計されています。

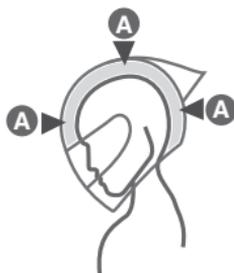
頭のサイズを測定するために、眉の約2.5cm上の頭の外周を巻き尺で計測します。

※頭のサイズが2つのサイズの間だった場合は、最初に小さいサイズを試してください。

※新しいヘルメットを使用する場合、以下に記載されているように必ず、頭頂部がヘルメットに当たるように深く被り、ヘルメットの前方部が眉毛の上にあたるように装着し、顎ヒモが正しく装着されていることを確認してください。

1. ヘルメットが頭全体にきちんと合っており、チークパッドが少々きつく感じる必要があります。

Ⓐを参照



2. 顎ヒモが装着された状態で、ヘルメットが左右・上下に必要以上に動かないことを確認してください。

頭を左右・上下に動かした際、肌が引っ張られる感覚がある必要があります。

Ⓑを参照



3. ヘルメットの後部を下から押し上げた際や顎ヒモの部分から押し上げた際にヘルメットが脱げてしまう場合は、大きすぎるため小さいサイズを選んでください。

## ⚠ 警告

- 絶対にヘルメットの中で髪を束ねないでください。また、パッドを入れての位置調整をしないでください。
- ヘルメットのサイズに関して質問がある場合、販売店に連絡してください。
- ヘルメットは時間の経過とともに内装の装着感が変化する可能性があります。上記の確認事項はヘルメットを使用している間は定期的に行ってください。着用感が変化し、サイズ合わなくなった場合、ヘルメットを買い換えてください。

## ⚠ 注意

- 絶対にヘルメットを他人に貸さないでください。
- サイズの適さないヘルメットは絶対に使用しないでください。

## 使用の為のアドバイス

### ヘルメットを被る

1. 頭に被りやすくするため両方の顎ヒモを掴みしっかり外側に広げ、正しい位置を確保してください。
2. 顎ヒモを正しい位置で留めてください。緩みや痛みを感じる場合は、適切な位置になるよう調整してください。



### ヘルメットを脱ぐ

顎ヒモを外します。被ったときと同様に、両方の顎ヒモをしっかり外側に広げヘルメットを外します。

## ⚠ 注意

- 「顎ヒモを適切に締められない」または「サイズが合っていない」ヘルメットは使用しないでください。
- 顎ヒモは緩みがないように長さを調節し、正しく留めてください。顎ヒモの長さが調節されていない、または正しく留められていないと、走行中にヘルメットがずれたり、万一転倒したときにヘルメットが脱げて、頭が保護されず、重大なケガにつながる恐れがあります。
- お手入れ時は絶対に石油、石油製品、化学薬品、溶剤を使用しないでください。

# 顎ヒモ

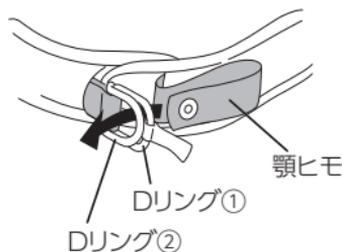
## ⚠ 注意

- ヘルメットの保護能力を最大限に発揮するため、顎ヒモを適切にご使用ください。
- 切断したり、穴を開けたり、ボタンや他のアイテムを付けるなどの改造を行わないでください。
- 顎ヒモが切れてしまったヘルメットは使用しないでください。

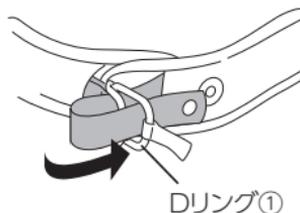
## ダブルDリングシステム

次の手順に従ってください。

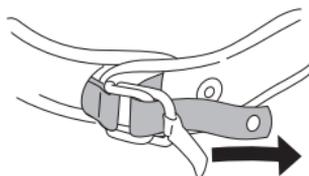
1. 顎ヒモをDリング①②に通します。



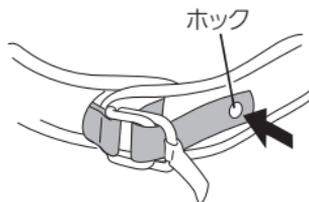
2. 顎ヒモの先をDリング②から折り返し、Dリング①に通します。



3. 顎ヒモをしっかり締め付けます。



4. ホックを止めます。



## 顎ヒモカバー

顎ヒモカバーは面ファスナーで取り付けられており、外してお手入れすることができます。

取り付ける際はカバーの表裏を間違わないよう注意し、適切な位置になるように調整してください。

面ファスナー



# シールド

シールドはツールを使わずに簡単に取り外せるため、手入りが簡単です。

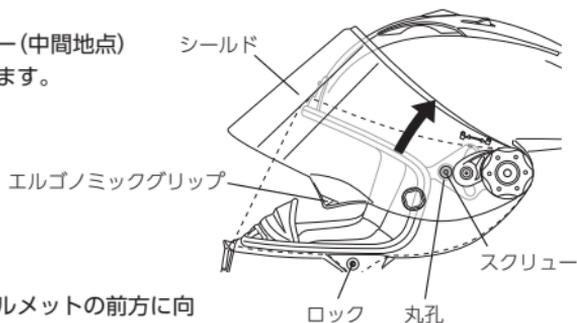
## シールドの開閉

開く：エルゴミックグリップを少し外側に広げながらシールドを開けます。

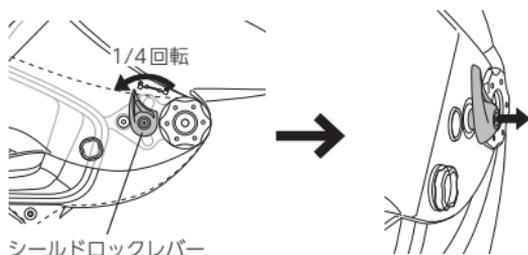
閉める：「パチッ」とロックが掛かるまでシールドを下げます。

## 取り外し

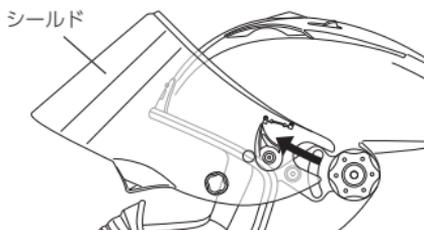
1. シールドの丸孔とスクリュー(中間地点)が重なる位置まで少し開けます。



2. シールドロックレバーをヘルメットの前方に向けて1/4回転させます。  
※シールドロックレバーが溝から外れます。



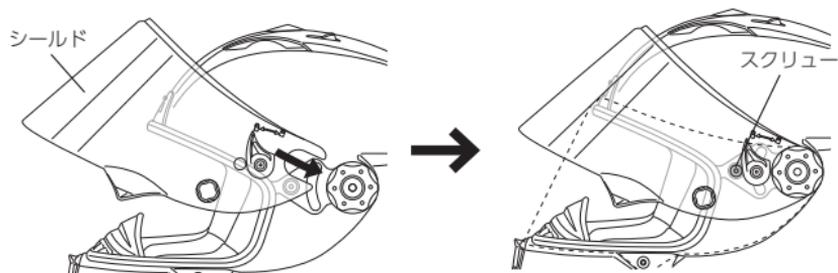
3. シールドをフランジから引き抜きます。



4. 同様に反対側も外します。

## 取り付け

1. シールドをフランジに合わせ「カチッ」音がするまで差し込み、スクリュー(中間時点)まで下ろします。

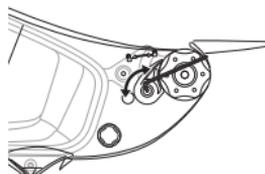


2. シールドロックレバーをバイザーに向けて押し込んだ状態で、ヘルメットの後ろ方向に約90度回転させてシールドロックレバーを固定させます。  
※シールドロックレバーとシールドの間に隙間が無いことを確認してください。



3. 同様に反対方向もシールドロックレバーを固定させます。

4. 1.5mmの六角レンチにより、シールドの開閉の強弱を調整できます。



### ⚠ 注意

- シールド取付け後は、シールド開閉作業を数回繰り返して、確実に取り付けられている事を確認してください。シールドが適切に取り付けられていないと、走行中にシールドが外れ重大な事故につながる恐れがあります。

## アンチフォグシールド

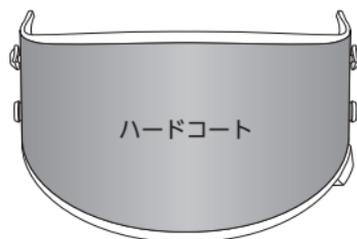
アンチフォグシールドは、シールドのくもりを防ぐことで良好な視界を確保し、快適・安心なライディング環境を提供します。

### ■日々のお手入れについて

- シールド内側は、ケミカル剤を使用しないでください。コーティングがはがれる恐れがあります。水またはぬるま湯で洗ってください。  
シールド外側は、通常通りのお手入れ方法(3ページ参照)に従ってお手入れください。
- シールド内側は、ハードコートが施されていないため、大変傷付きやすいです。汚れを拭き取る場合は、市販のメガネ拭き用クロスなどの柔らかくて傷を付けにくい布を使用してください。



<シールド内側>



<シールド外側>

### ■保管について

直射日光を避けて日陰の場所で保管してください。長時間、太陽光にさらされるとくもり止め効果の期間が短くなる場合があります。

## ⚠ 注意

### ■くもり止め効果は永久不変ではありません。

- アンチフォグシールドはシールド内側に特殊なコーティングを施すことでくもり止め効果を発揮しますが、日々の使用によって徐々にその効果が減少していきます。
- アンチフォグコーティングの効果期間の目安は約1年<sup>※1</sup>です。お客様の使用環境・頻度・保管状況によって効果期間は前後します。※1：保証期間を表すものではありません。
- くもり止め効果を長く利用して頂くために「■日々のお手入れについて」と「■保管について」の項目を守ってください。

## ■ シールドがくもる原因

- ①吐息などから湿気がある暖かい空気が放出される。
- ②放出された暖かい空気はヘルメット内の空気や外気温、シールド部分と接することで冷やされます。

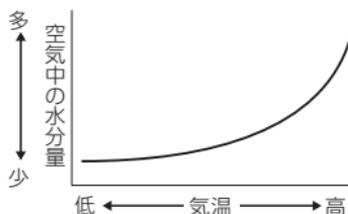
※温度関係：吐息＞ヘルメット内部＞外気温

高                  温度                  低

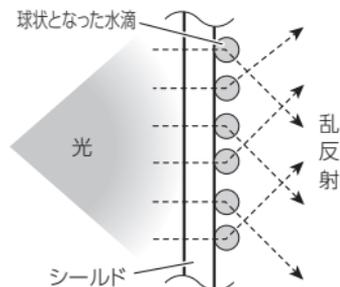


- ③空気が冷やされることで空気中の飽和水蒸気量が減少するため、水分が空気中より溢れ出し、その水分がシールド内側に付着します。

気温と飽和水蒸気の関係



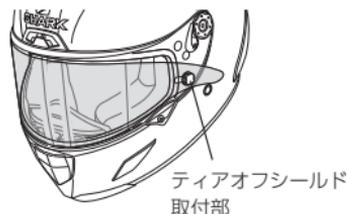
- ④シールドに付着した水分は表面張力により球状となります。球状となった水滴は、光の屈折を発生させ、乱反射することでシールドが白く見えます。この乱反射が、くもりの正体です。



## ティアオフシールド

別途ティアオフシールドを取り付けることができます。走行中のオイル汚れや、小石などからシールドを守ってくれるバイザーです。汚れたら簡単に取り外しができます。

※ご購入は、販売店へお問い合わせください。



# 内装のお手入れ

肌に接触するパーツは、汗を良く吸収する布地で作られており、カビとバクテリアを抑制するために表面処理をしています。

## ⚠ 注意

- 内装は磨耗や破損の恐れがあります。磨耗の程度はメンテナンス頻度や使用期間により異なります。
- 内装が磨耗や損傷した場合は、新しい物と交換してください。交換用内装は販売店にお問い合わせください。
- ヘルメットを装着する際にはヘルメットの装着感を確認してください。  
P6参照(サイズの選択)

## お手入れについて

布地のパーツは洗濯が可能です。パーツの損傷を避けるために次の手順に従ってください。

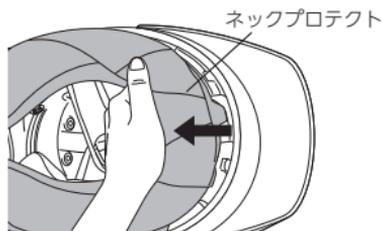
1. ネックプロテクト、チークパッド、コンフォートライナー、顎ヒモカバーはぬるま湯または薄めた中性洗剤で手洗いします。  
※洗淨力の高い洗剤ではなく、薄めた中性洗剤または家庭用石鹼を使用してください。
2. パーツをヘルメットに装着する前に布地を完全に乾かしてください。  
※陰干ししてください。ドライヤーやアイロンは絶対に使用しないでください。
3. ヘルメットを使用する前に全ての内部のパーツが乾いていることを確認してください。

## ⚠ 注意

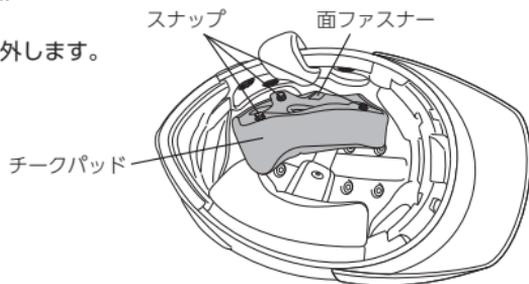
- 損傷を受けたパッドは、使用しないでください。転倒した際にヘルメットが脱げてしまい重大な事故につながる恐れがあります。

## 内装の取り外し

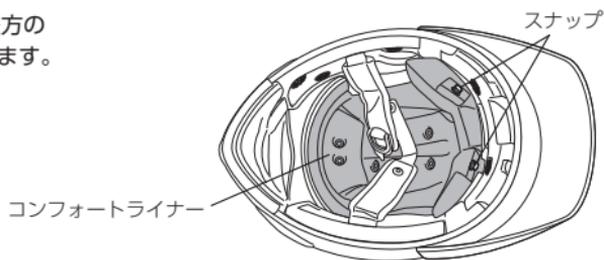
1. ネックプロテクトをしっかり掴み、後ろ側から引き抜きます。



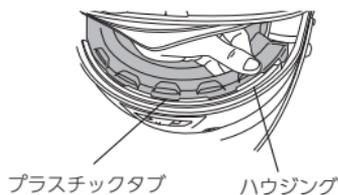
2. チークパッドをスナップ(3か所)と面ファスナーを外します。同様に反対側のチークパッドも外します。



3. コンフォートライナー後方のスナップ(2か所)を外します。

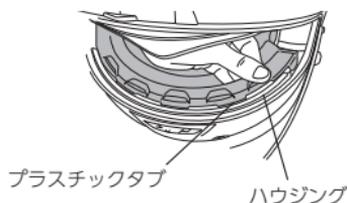


4. 正面のハウジングに取り付けられたプラスチックタブを端から引き抜き、コンフォートライナーを外します。

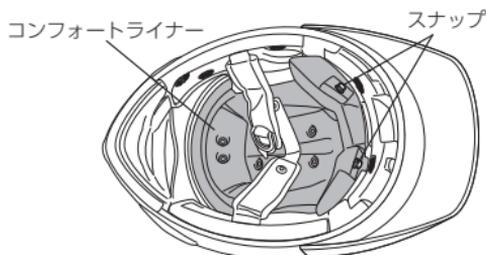


## 内装の取り付け

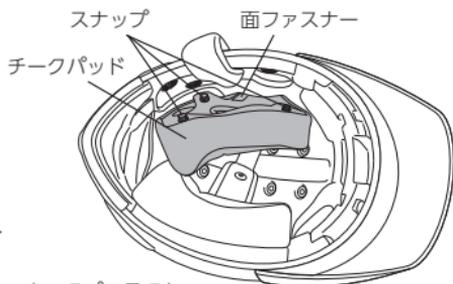
1. コンフォートライナーをヘルメットの適切な位置にセットし、ヘルメット正面のハウジングにプラスチックタブを差し込みます。



2. コンフォートライナー後方のスナップ(2か所)を留めます。

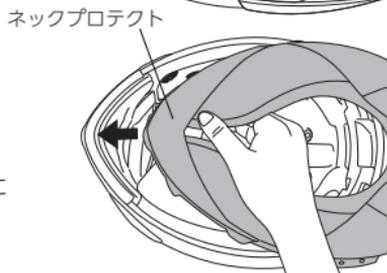


3. チークパッドに顎ヒモを通し、スナップ(3か所)と面ファスナーで留めます。  
※チークパッドの下に顎ヒモが折れ曲がっていないことを確認してください。



4. 同様に反対側のチークパッドも取り付けます。

5. ネックプロテクトを、前方からヘルメットに沿ってプラスチックタブを差し込みます。  
※コンフォートライナー、チークパッド、ネックプロテクトが正しくヘルメットに収まっているか確認してください。



## ⚠ 注意

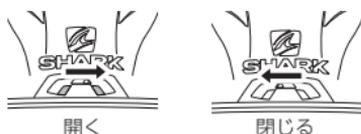
- ネックプロテクト、チークパッド、コンフォートライナー、顎ヒモカバーは、ヘルメットを適切に装着するための重要なパーツです。内装の取り外しまたは取り付けに、ご不明点が御座いましたら販売店にお問い合わせください。
- 絶対に内装を外した状態でヘルメットを使用しないでください。転倒した際に重大なケガにつながる恐れがあります。

# ベンチレーション

走行時に前方からの風圧を利用して効率よく外気を導入し、ヘルメット内部の熱気を排出させることができます。

## フロントベンチレーション

レバーを右へスライド(開く)  
レバーを左へスライド(閉じる)



## トップベンチレーション

※左右2か所  
レバーを後方へスライド(開く)  
レバーを前方へスライド(閉じる)



## マウスベンチレーション

シールドの曇り防止です。



## フィルター

マウスベンチレーションのエアフィルターです。取り外しができ、上下を逆にして外気の導入を遮断することもできます。フィルターは、定期的な交換をお勧めします。

**【取り付け】**

1. ネックプロテクトを外します。
2. 溝に沿ってフィルターを差し込みます。



フィルター無し



外気をフィルターして内部に取り込みます。



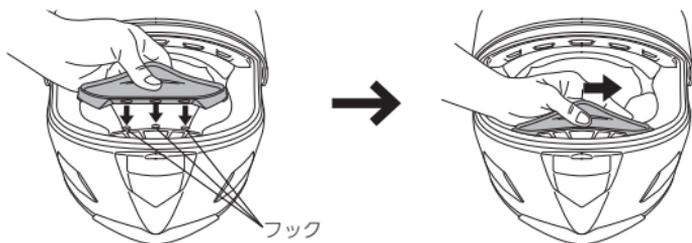
□元への外気は遮られます。

# ブレスガード

## 小型タイプ (主に夏用)

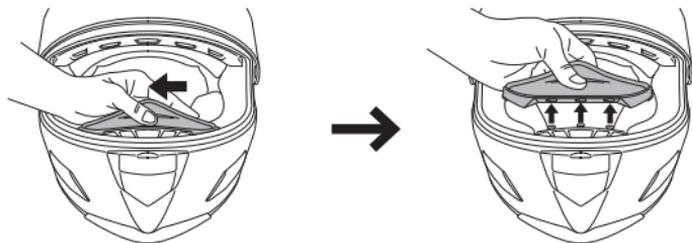
### ■取り付け

ヘルメットのフック(3か所)と、ブレスガードの溝を合わせます。ブレスガードをスライドさせて固定します。



### ■取り外し

ブレスガードをスライドさせて取り外します。

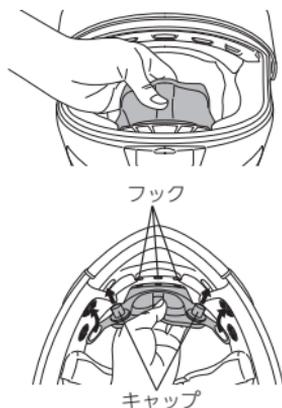


## 大型タイプ (主に冬用)

※お肌に合わない場合はご使用をおやめください。

### ■取り付け

1. 左右のチークパッドのスナップを外します。
2. ヘルメットのフック(3か所)と、ブレスガードの溝を合わせます。
3. ブレスガードの両端のキャップをヘルメット内のシェルへ挿入します。
4. ブレスガードの輪をチークパッドのスナップ部へ組付け、チークパッドのスナップを留めます。

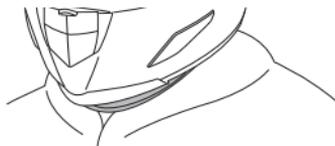
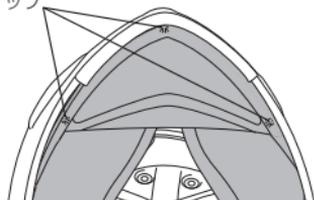


## チンカバー

---

外気の巻き込み風を軽減できます。  
スナップ3か所で留めます。

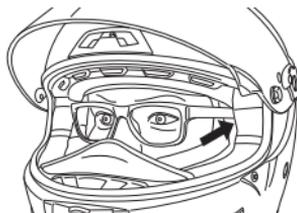
スナップ



## イージーフィット

---

ヘルメットの両側はポケットのような形状をしており、メガネがより快適に収まるようになっています。



SHARK ホームページはこちら

URL <http://sharkhelmet.jp>



●商品に関するお問い合わせ

株式会社ワイズギア



0570-050814

オープン時間 月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日を除く）

9:30～12:00 13:00～17:00

- ◎一般の固定電話の場合、全国一律市内通話料でご利用いただけます。
- ◎IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。

〒437-0061 静岡県袋井市久能 3001-8 FAX. 0538-31-2104

販売元：株式会社ワイズギア  
〒437-0061 静岡県袋井市久能3001-8

総代理店：株式会社LINKS  
〒604-8025 京都市中京区下大阪町349-6 イシズミビル7F

製造元：ACS (Advanced Composite System)  
11/1 Moo 4 Soi Pra Apaimanee Sukhumvit RoadHuayyang Klaeng Rayong  
21110 THAILAND

Made in THAILAND (ACS)

MM0025.01